

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
令和元年度 第2回理事会 議事録

- 1.開催日時 令和元年8月1日 午後6:40～午後8:30
- 2.開催場所 宇佐美マラソン・スポーツ研究室
- 3.理事総数 13名
- 4.出席者数 5名（書面表決書4名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、鈴木良雄、池上孝則 敬称略）
書面表決書（前河洋一、岩山海渡、小林均、森川貞夫 敬称略）
オブザーバー（佐原和真、矢崎浩二 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

- 第1号議案 前回理事会および年次総会（6月6日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第2号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第3号議案 平成30年度事業報告書等提出について
保原氏より、前回理事会での懸案事項だった正味財産額に関する活動計算書、貸借対照表および財産目録の修正について報告があった。
税理士に相談の結果、現時点での正味財産が明確になっていることが重要なため、過年度分の修正はせずに本年度分の活動計算書上で過年度損益修正益として計上することになった。
修正版は6月17日に都庁に提出すると共に、HPに掲載した。
- 第4号議案 2019メルボルンマラソンについて
保原氏より、現時点での参加申込者の状況、収支見込み、現地対応状況等について報告があり、今後の活動について審議した。
- 7月末での参加申込者数は107名でほぼ昨年並みとなった。HIS経由での申込者が20名程度いるとの情報があるので、前年比120%程度にはなる見込みである。
 - 参加者増に加え、窓口業務委託費、スタッフ旅費など15万円程度の経費削減をしたので、収支見込みは黒字になる見込みである。引き続き、収支改善の対策を継続する予定である。
 - 今年は、昨年協力して頂いた現地ボランティアの皆さんにボランティアチームを結成して貰って準備中である。現在は、ボランティア募集等の活動中である。
今後は連絡を密にして詳細を詰めていく予定である。

第5号議案

2019北海道マラソン教室について

保原氏より、第1回～第3回の実施状況、収支見込みについて報告があり、今後の活動について審議した。

■参加申込者数は、第1回は15名で大幅減だったが、その後の告知活動により、第2回は44名、第3回は210名と昨年並みになったので、収支としては昨年並みの収益は確保出来そうである。

■今年は特別企画として、宇佐美氏のビデオによるフォームチェックおよび北海道医療大学の山口先生による「3次元加速度計」による動作解析を実施したが、好評だったので、来年度も実施したいと考えている。できれば、実地指導も盛り込み、フォーム改善効果を実感して貰うのが良いとの提案もあるので、そのようにしたい。

なお、講師の先生達およびスタッフとの意見交換会で、講義時間と実技時間のバランスについての提案があったので、第1回目は講義中心、2回目以降は実技中心のプログラムを組みたいと考えている。

■第4回目は大会前日の「直前対策」で、午前中には大会公式プログラムとして、山西理事長、北海道教育大学・杉山教授、北海道医療大学・山口教授のトークショウを、午後は希望者対象のQ&Aセッションを予定している。

第6号議案

各種ランニング教室について

保原氏より、実施状況について報告があった。

■火曜昼の「熟年ランニング教室」は通期参加者10名＋単発参加者で実施中で、相変わらず盛況だが、隔週水曜夜の「快走教室」および月1土曜日午後の「長距離練習会」はやや低調でメンバーも固定しているので、対策検討中である。

また、月1開催の「セミナー」については、これまでの単発の個別のトレーニン方法に関する内容から、通期の研究会方式で「エコノミカルランニングを身につけよう」をテーマとした効率的なランニングフォームに関する話し合いの場にする事で準備中である。

■浦安市からの依頼で実施している、小学3年生対象の6回シリーズ「美走塾」は6月1日(土)～7月13日(土)で無事終了した。

なお、6月15日(土)に予定していた、「千葉県民の日・子どもランニング広場」は参加希望者が少なかったため中止となった。

第7号議案

連携活動について

鈴木氏の紹介で佐原和真、矢崎浩二の両氏より活動状況について説明を受け、今後、当協会との連携について検討することになった。

■佐原和真氏

家業のおそば屋さんを経営する傍ら、ランナーを支える管理栄養士として活動している

「UNITED STYLE」の活動について説明頂いた。[\(https://www.unitedstyle-hrl.com/\)](https://www.unitedstyle-hrl.com/)

パーソナルトレーナーとしての活動を中心に、ラフィネ・ランニングスタイル、Running Clinic、Run Trip、@RUN TOKYOなどでランニング指導をしている。

■矢崎浩二氏

日本IBMの事業部長という要職にありながら、日本スロージョギング協会の主要メンバー

として活動中で、日本スロージョギング協会の活動内容、将来構想などについて説明を頂いた。

協会スタッフは7～8名であるが、協会認定の指導員が70～80名おり、その方達が主体となって日本全国でスロージョギングクラブなどを結成して活動しており、将来的には地域総合型倶楽部などとの連携によって、高齢者だけでなく、すべての年代の人々にスロージョギングを普及させたいと考えている。さらに、この活動をグローバルなものにまで広げるために、中期5年計画を作成して活動中である。 (<http://slowjogging.org/>)

第8号議案 今後の協会活動について
山西理事長よりこの議題については次回以降に協議したいので、本日は行わないとの話があり、審議しなかった。

第9号議案 その他
■次回理事会について
特に決めなかったので、定款35条に基づき理事長から開催の要望があった時に開催することにする。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時30分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

令和元年8月1日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

山西 拓印



議事録署名人

宇佐美 彰朗



議事録署名人

保原 幸夫

